

## (臨床研究に関するお知らせ)

### 和歌山県立医科大学附属病院消化器外科において、原発性肝臓で手術歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学外科学第2講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

#### 1. 研究課題名

メチル基置換酵素／脱メチル基置換酵素の原発性肝臓における機能解析  
—後ろ向き観察研究—

#### 2. 研究責任者

和歌山県立医科大学外科学第2講座 講師 速水晋也

#### 3. 研究の目的

タンパクのメチル化は癌化のメカニズムを解明するうえで現在非常に注目されている分野ですが、未知の領域も多い分野です。また、原発性肝臓、特に肝細胞癌は世界で3番目の死因となっており、特に日本を含めた東アジア地域でその発生が多い状況です。そこで今回当科で手術を受けていただいた方の切除標本を用いて、タンパクメチル化を担っているメチル基置換酵素／脱メチル基置換酵素の発現をタンパクレベルで解析します。また、その結果に基づいて、切除標本を用いてRNAや他のタンパク質の発現解析を実施し、様々な分子との関連性についても解析を行い、その発現様式と患者背景因子・腫瘍因子との関係について検討を行います。これにより原発性肝臓の癌化メカニズムの一端を明らかにし、診断・治療・予後予測に役立つ可能性を見出します。

#### 4. 研究の概要

##### (1) 対象となる患者さん

原発性肝臓の患者さんで、平成12年1月から平成26年12月までの期間中に、初発原発性肝臓の切除手術を受けた方

##### (2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、病歴、採血データ、病理所見に関する情報です。

##### (3) 方法

当科にて原発性肝臓切除手術を受けた方の切除標本を用いてメチル基置換酵素／脱メチル基置換酵素の発現の有無を調べ、メチル基置換酵素／脱メチル基置換酵素と無再発生存率、全生存率の関連を検討します。

#### 5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

#### 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。

研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

## 7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学外科学第2講座 担当医師 須崎紀彦

TEL : 073-441-0613 FAX : 073-446-6566

E-mail : [suzaki@wakayama-med.ac.jp](mailto:suzaki@wakayama-med.ac.jp)